

道北地域の景気の基調判断を上方修正しました

皆さん、いつもこのサイトをご覧ください、ありがとうございます。

さて、12月14日に公表しました「[金融経済概況（道北地域）](#)」では、道北地域の景気の基調判断を「低迷しているものの、持ち直しの動きが広がっている」として、前月までの「低迷しているものの、持ち直しの動きもみられる」との表現から上方修正しました。

1. 公共投資が大幅に増加しています。8月、9月、10月とそれぞれ前年同月を大幅に上回り、10月までの年度初来累計でも前年同期を1割以上上回っています。こうしたことから、このたび公共投資の基調判断を「持ち直している」から「大幅に増加している」に上方修正しました。
2. 設備投資は、同じく12月14日に公表しました「[短観（道北地域）](#)」の結果、21年度下期計画が、9月調査対比で上方修正され、前年同期比で4割方の増加となる見込みとなりました。この結果、設備投資の基調判断を「低迷している」から「持ち直しつつある」に上方修正しました。
3. 個人消費は全体的には厳しい状況が続いていますが、自動車販売、家電販売が好調です。
4. 雇用情勢が厳しい状況であることは変わりありませんが、このところ若干変化の兆しも窺われます。一部道北地域における新規求人が前年同月との対比で増加に転じてきているほか、有効求人倍率が、前年との対比では依然として低いのですが、ここ4～5カ月緩やかな持ち直しに転じてきています。
5. 短観結果から窺われる道北企業の業況感は、6月調査時点でボトムを打って持ち直してきました。今回の12月調査でも若干ではありますが更なる改善がみられました。

来年1月7日に教員のための金融教育セミナー（詳細は[こちら](#)）を実施します。まだ、収容人数に余裕がありますので、教員の皆様以外でもご関心ある方は奮ってご参加ください。なお、12月15日が申し込み期限となっておりますが、これにかかわらず、お早めにお申し込みください。

平成21年12月14日

尾家 啓之